

12月(2017) p4c Japan ミーティング報告

- 日程 2015.12.28 (金)
- 時間 15:30-17:00
- 会場 大阪大学中之島センター605
- 参加者 大学院生1名(徳島) 大学教員3名 内1名(ハワイ) 小学校教員(公立)4名
中高一貫(私学)教員4名内2名(広島) 中等教育校(国立)教員1名
公立高校1名 パン屋さん1名(p4c活動主宰)
- 記録 辻村(※:記録者)

それぞれが自己紹介をされた後にミーティングが始まる。今回は、ハワイ 広島 徳島と 遠方からの参加者を含め、多くの方が参加して下さいました。

キーワード

新学習指導要領(道徳の教科化・カリキュラムマネジメント) 教育行政の取り組み(宮城県・白石市)
Intellectual safety 人権教育(多文化共生) 実践方法(スキル)

1 自己紹介時に言及されたトピック

- ①白石市(宮城県)12/1 第3回探究の対話(p4c)フォーラム in 白石についての紹介。宮城県での取組が盛況である。(大学教員)
- ②D論のためのリサーチでハワイより参加。(※2016年、12月にもご参加頂いている)
- ③困難校(小学校)で取り組んでいる。
校務分掌は生活指導。大柄/男性教員という属性からか? 始めは児童たちから距離をおかれていたが、対話の輪に入ることで「気さくな先生」という評価を児童から受けるようになる。(p4cを評価していない教師はそのような評価を受けることを嫌がる。)
6年生の担任なので、授業を「形」(※可視化?)として残すよう、中川さん(※p4c Japan HP 参照)に倣い「ポスター」を描かせている。
←児童/生徒本人にも見えていなかったことが見えるという効用もある。(中川)

2 ミーティング

2-1 2点の質問(広島中高一貫)

- ①「問い」の立て方は? - 先日「幸せとは何か?」(「100分 de 名著」:NHK)でラッセルの『幸福論』を視聴したのでという「問い」で対話をした。
←『てつがくおしゃべりカード』というのもあります。(※p4c japan の HP には中川さんがまとめてくれた参考になる資料が沢山あります。)
- ②学校で広めていくのは難しいのか? - セーフティー確立の難しさ? / 発言者が集中砲火を浴びないか? (浴びたときの対処は?)
←年度が始まった当初は、児童たちの家庭環境などを徹底的に調べ、児童に関する情報を持っておく。担任として主体的に場をドライブすることはないが、介入する機会を測りながら対話に参加する。それを繰り返し続けることで教室内にセーフティーが醸成される。(小学校教員)

← (集中砲火を浴びないように／浴びせないように) 児童／生徒が自分達で考える場を創出する。子どもが根拠のない一般化をした場合 (子どもはよく「絶対に」という言葉を使う)、「どうしてそう思うの?」とか、「こういうこと (場合) はないかな?」、「こういう場合はどうなるかな?」、とって反例を示す。(e.g.友だちだったら絶対頼まれたことはしてあげなければいけない。)⇒「友だちが何か悪いことを頼んできたらどうする?」)

抽象的な問いにも関わることができるようになると、考えることへのモチベーションも高まる。(大学教員)

←みんなで「問い」を決めた場合、「みんなで決めた問いなのでみんなで考えよう」と議論を誘導していくことができる。(道徳の教科化に向け) p4c は、子どもたちが議論のプロセスに参画できる流れをつくる。「プロセス」を評価する「道徳」となることを希望している。

p4c を評価していない教員は、子どもたちが勝手に考えるのが怖いと思っている人が多い。が、児童を自立させたいと思う同僚教員は、p4c に取り組み始めている。(小学校教員)

2-2 実践事例紹介 (小学校教員)

人権教育に力を入れている自治体。同和教育に軸足を置いた人権教育実践という「流れ」がある。障がいを持つ児童や他国籍の児童もいる学年の状況においてより高次の視点に立った人権教育をしたいと思っている。

研究授業では、複数の民族衣装のレプリカを作りその中にアマゾンの先住民の粗末な衣装を混ぜておくと、児童たちはその衣装を触ることすらしないであろうという前提で授業計画をたてた。

計画通り、児童たちが、その衣装を避けたことを受けて、「何故、触らないの?」という問いで対話。熱帯雨林に暮らす民族の衣装の合理性を知識として与えることで、「多様性／多文化共生」にコミットさせる契機の獲得とそれに依拠した対話が可能だった。(小学校教員)

2-3 P4C を使った時期指導要領をみすえた一考察と提案「主体的、対話的で深い学び」カリキュラムマネジメント 総合的な学習の時間 道徳 国語 横断的な学習 資質 能力について、レジユメに沿って解説。(小学校教員)

※内容を概括すれば、

カリキュラムマネジメントという概念を利用し、そこに p4c を落とし込むことで、学校教育現場に根付かせることができるのではないかと

なるだろうか。

また、**資質・能力**を受けて、白石市でフォーラムにおける文科省教育政策研究所 研究員の講演内容に言及される。(大学教員)

が、時間が残り少なかったので、次回、両者から続きを是非お聞きしたいと思っています。(記録者)

以上